

授業コード / Code	科目名 / Course Title	担当者 / Instructor	履修年次 / Semester	授業形態・単位数 / Style・Credits	必修選択の別 / compulsory subjects or optional subjects
j29303	教職論	中西綾子	2年次・後期	講義・2単位	幼児・保育士必修

授業の概要 / Course Outline
<p>保育士、幼稚園教諭、保育教諭の制度・法令上の位置づけや責務、倫理など職務内容に関する基本知識を学ぶ。具体的な事例などを通して保育の質の向上をめざす保育専門職について視野を広げる。</p>

到達目標 / Attainment Objectives	ディプロマポリシーとの対応関係 / Relationship with the diploma policy
・保育の動向を踏まえ、今日の保育者・教員に求められる役割や資質能力を理解する。	A-②、C-①
・保育者・教員に求められる職務内容の全体像や服務上・身分上の義務を理解する。	A-①、C-②
・保育者・教員にふさわしい価値観・倫理観を自分なりの言葉で説明できるようになる。	A-①、B-①
・保護者や地域社会、専門機関との連携・協働の必要性を理解する。	B-①、C-②
・保育者・教員の資質向上とキャリア形成の必要性を理解する。	A-② B-②

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation		
種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記) End of Semester Examination (Written)	50%	講義内容の理解を問う
レポート試験 Report Examination	30%	講義内容の理解に関するレポート作成
実技試験 Practical skill test	0%	
平常点評価 Continuous Assessment	20%	授業への取り組み(コメントペーパー等)

教科書 / Textbooks
<p>使用しない。毎授業時に資料を配布する。</p>

参考書 / Reference Books
<p>矢藤誠慈郎・天野珠路(編集)『新基本保育シリーズ7 保育者論』中央法規, 2019年</p>

予習・復習 / Preparation・Review
<p>授業後は配布した資料を読み理解を深めること。試験では手書きの指定シートのみ閲覧可とする。指定シートについては授業内で指示する。従って、復習として、資料等をノートに整理することで理解を深めることを推奨する。(90分程度)</p>

課題に対するフィードバック方法 / How to give feedback on tasks
<p>毎回の授業冒頭に、前回の授業課題のフィードバックを行う。</p>

特記事項 / Special Note
<p>新聞やテレビで報道される保育・子育てに関するニュースや、子どもが登場するドラマ、映画、絵本等に日頃から関心をもち、自分なりの意見をもちながら見ることを推奨する。 【実務家教員】保育士や欧米でのナニーとしての経験をもとに、保育教諭の法令上の位置づけや責務、倫理など職務内容に関する基本的知識を講義する。</p>

授業スケジュール / Course Schedule

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

授業回数 Lecture	テーマ / Theme
	内容 / Contents
01	<b>オリエンテーション・教職論とは</b>
	保育者の役割と、子どもにとってのうれしい保育者・教師像を考える。
02	<b>保育者の資格と責務</b>
	保育の仕事の法的・制度的な位置づけ、保育士・幼稚園教諭・保育教諭の責務や専門職性を考える。
03	<b>子どもの権利と保育者の役割①保育者の倫理</b>
	児童の権利条約の意義と保育者の役割、倫理観を考える。
04	<b>子どもの権利と保育者の役割②養護と教育の一体的展開</b>
	子どもの権利としての「養護」と「教育」を保育教育現場でどのように展開していくかを考える。
05	<b>保育実践における保育者の専門性①</b>
	豊かな想像力をはぐくむ、子どもの物語と保育者の関りを考える。
06	<b>保育実践における保育者の専門性②</b>
	豊かな自然・文化と子どもの出会いをつなぎ、遊びのなかの学びを理解する。
07	<b>保育者に求められる資質・能力</b>
	保育者は、保育を考える力・子どもを理解する力・人と関わる力が相互に関連することを理解する。
08	<b>多様な子どもの育ちを支える保育者①</b>
	乳児・1歳以上3歳未満・3歳以上の発達の特徴と保育のねらい・内容、子どもの思いや育ちを理解する。
09	<b>多様な子どもの育ちを支える保育者②</b>
	インクルーシブ保育の概念、みんなが安心できる環境構成・教材の工夫を考える。
10	<b>保育における連携と協働①</b>
	保育者と専門職・専門機関との連携について学ぶ。医療機関、小学校との連携を考える。
11	<b>保育における連携と協働②</b>
	保育者と地域社会との連携について学ぶ。子どもを取り巻く社会、防災や災害時の連携を考える。
12	<b>諸外国の保育者・教師の姿、保育の実践①</b>
	欧州を中心に幼児保育教育に携わる保育者・教師の一日の様子など具体的な姿に触れる。
13	<b>諸外国の保育者・教師の姿、保育の実践②</b>
	欧州を中心に幼児保育教育に携わる保育者・教師の一日の様子など具体的な姿に触れる。
14	<b>保育者の専門性の向上とキャリア形成</b>
	保育者にとって資質向上とは何か、資質向上をめぐる取り組みと自らのキャリア形成を考える。
15	<b>まとめ、保育者としての豊かな成長を目指して</b>
	講義内容の総括。保育者としての豊かな成長を考える。